

患者と向き合う 看護師へ第一歩

戸田中央看護専門学校が卒業式

戸田市本町の戸田中央看護専門

門学校(中村毅校長)の卒業式が

戸田市文化会館で6日行われ、

第一学科17期生78人、第二学科

38期生24人が看護師としての第

一歩を踏み出した。写真。

卒業生を代表して答辞を読んだ第一学科の水野谷祥子さんは、3年前に故郷の福島で東日本大震災に遭い、家族と離れて入学した。二つらい時も仲間同



士で支え合った。この学校での

経験を糧に看護の道を胸を張っ

て歩んでいきたい」と決意を述

べた。中村毅校長が「患者の心

と向き合い、支えられる看護師

となり、地域社会に貢献できる

人材となることを期待してい

ると卒業生を激励した。

1977年の開校以来、多くの

看護師を輩出してきた第二学

科(2年課程)は今回の38期生

の卒業を最後に閉鎖となるた

め、式終了後にモーターも行

われた。(土沢貴弘)



2014年 3月10日 月曜日
(796204)